



所長 田中美砂子

差をつけず、着る人看られる人の心理的壁をつくらないように、そして年齢や障碍の有る無しにかかわらず出来るだけ居心地よく暮らしたいからです。職員は電車や自転車通勤し、必要に応じてそれぞれ工夫して通勤着から働きやすいく街歩きにも適した色どりのよい服装に着替えることもあり、明るい色づかいやおしゃれをしてフィットネス入内に活気を与え、ご利用者に元氣と明るさを感じていただきたいと思います。

シルバーネットビーのフィットネスは2部屋が近くにあります、それぞれ3世代(20代の職員から90代のご利用者まで)の家族が暮らし、いろいろな形態をとっていますので、玄関先から家中まで普通の住まいの暮らしのつらえになっています。これはご利用者が知り合いを訪ねてお昼ご飯を食べたり、お茶を飲んでお喋りしたり、趣味の遊びを楽しむ気分です。ですから、ご利用者も職員も入り混じって過ごしていますので、フィットネスの中でも外歩きでも一見すると家族のようで、また職員は調理や給仕、入浴介助など別として、エプロン、名札、制服をつけています。それは職員とご利用者を見ただ目で

居心地よく

## あなたのお話、お聞かせください!

「Well Being」は読者の皆さんと一緒につくっていきます。  
 “こんな情報がほしい”“こんなことを掲載してほしい”というご要望がありましたら「Well Being」編集室まで、ぜひお気軽にお寄せください。

### 掲載原稿募集のお知らせ

テーマ：“私が子どもだった頃”400字程度、年代、性別を問いません。  
 ※無記名希望の方は、その旨記してください。

### 連絡先

〒359-1141 所沢市小手指町1-13-23  
 シルバーネットビー [Well Being] 編集室

ポストインで  
 お願いします!

企画・編集 田中 淳一 <編集長>堀越 郁子  
 デザイン CHIHIRO・深谷 良平  
 表紙(イラスト) TAKUMI  
 発行 株式会社シルバーネットビー  
 通所介護事業所<デイサービス>  
 デイサービスセンター小手指  
 シルバーネットBeeデイサービスセンター  
 訪問介護支援事業所<ホームヘルプ/ヘルパー派遣>  
 居宅介護支援事業所<ケアマネジャー/介護相談>  
 〒359-1141 所沢市小手指町1-13-23  
 〒359-1141 所沢市小手指町1-13-28  
 電話番号: ☎0120-978-023  
 F A X 番号: 04-2939-8900  
 ホームページ <http://silver-net-bee.com>  
 発行日 2014年5月1日 第十六号



Well Being 幸福、福利、健康 Well Being 元気でいこうよ

# Well Being

TAKE FREE! vol.16



特集

## い・ご・こ・ち



AED(自動体外式除細動器)を備えています。  
 必要な際にはいつでもお申し出ください。

# Well Being

vol.16  
<2014.5月号>



## 混じりあって居心地よく

### デイサービスでの様子



お話しをしたり食事をおすすめしたりしながら、ご利用者と職員と一緒に食卓を囲み箸を運ぶ様子は和やかです



ご利用者にお手伝いいただきながら白玉団子に餡をかけておやつ準備中



趣味の麻雀や遊びに興じて頭と手先を楽しく働かす

3月6日小手指タワーズで早稲田大学加瀬裕子研究室主催の「認知症サポート技術講座」が開かれ多勢の方が参加されました。当日、シルバーネットビーの田中淳一が認知症をとりまく環境とボランティア活動の意義について、介護事業者として現場からの目線で講義を行いました。参加された方々の熱心で真剣な取り組みが伝わってくる講座でした。



### 得意な料理は中国菜(中国料理)

中国からやってきた何 振新(か しんしん)さんの得意料理は勿論中国料理です。シルバーネットビーで料理の腕をふるうようになって二年余りになりました。野菜をたっぷり加えたお肉料理などは、高齢者の口に合うように柔らかく仕上げるように注意しているそうです。小麦粉を水で溶きネギやニラを混ぜて薄焼きにした手作りのおやつは、もちりしていて香ばしく懐かしい味、おやつの時間が和みます。日本語があまり得意ではない何さんに、職員の中田さんの通訳で働いている感想を聞きました。"仕事を通して、ご利用者や職員が親切で友好的なのを身にしみて感じます。これからますます努力したいと思います"いつも温和な笑顔が印象的な調理担当職員の何さんを紹介しました。



何です！  
よろしく  
お願いします！

### 育児を彩る雑貨たち

オープンして8年になる空 恭子(そら やすこ)さんのお店(オープン セサミ!)はカラフルな子供用輸入雑貨と手作り小物たちで溢れていて、まさにひらけごま！楽しい気分ミルクを飲ませたいと哺乳瓶を個人輸入したことがお店の始まりです。この哺乳瓶は流動食を明るく前向きに召し上がりた方にも愛用して頂いて、嬉しい気持ちがお店を続けている原動力となっているそうです。子供連れでおしゃべりと軽食を楽しむカフェも併設されています。(キッズルーム有り)



open sesame! 所沢市上安松891-1 ☎080-5976-0419 定休日土・日・祝

ご利用者 寄稿 職員

### 私が子どもだった頃

嗅覚というのは人の感覚の中で一番記憶と結びついているという。ふとした時に香る匂いで遠い昔の記憶が蘇ることがある。それも多感な頃、5歳〜15歳くらいの頃に一瞬飛ばされる。中でもかなり古い記憶と結びついている匂いがある。多分幼稚園に通ってた頃だと思う。近所の米軍基地で夏になるとお祭りがあった。広い芝生のエリアを取り囲むように屋台が立ち並び、その光を眺めるだけでとてもワクワクしたのを覚えている。その祭りでは打ち上げ花火を上げるのが恒例で、その瞬間を楽しみに待っていた。花火が上がる直前、母の代わりに連れて行ってもらっていたIKOちゃんが「雨の匂いがす

### 雨の匂い

かつわんさま

るねえ」と空を見上げて呟いた。僕も空を見上げたが雨は降っていなかった。しばらく経って花火が始まったと同時に大粒の雨粒がポツリポツリと落ちてきた。すぐに本降りになり、花火の途中で慌てて退散した。濡れながら帰る道すがら、なぜIKOちゃんは雨が降る前に分かったのか。雨の匂いとはどんなものだったのか、不思議に思った。それから時間が経って、アスファルトが濡れたようなむっとする匂いが雨の匂いと知った。今でもあの匂いをかぐとあの祭りのワクワク感、そして予言者のようなIKOちゃんの呟きを思い出す。

